





いなしきに住みたくなっちゃう♥プラン
重点プロジェクト別総合評価

[重点プロジェクト-1]

基本目標	本社を移転するなら稲敷市プロジェクト						
目的	国の地方拠点強化税制に加え、稲敷市独自の有利な優遇制度により、企業の本社機能や研究機関の誘致を積極的に進めます。						
関係課	企業誘致推進室、人口減少対策室						
評価	順調	概ね順調	やや遅れ	遅れ	事業数	実施事業数	未実施事業数
					4	4 (100%)	0 (0%)
* 前年度の評価「やや遅れ」(前年度比較 ↓)							
総括評価	<p>概要</p> <p>前年度の評価は「やや遅れ」であったが、平成 29 年度から実施された 1 事業が実績がなく評価は「遅れ」と低下した。</p> <p>①本社機能移転等支援事業 自治体が行う優遇制度としては全国でもトップクラスの水準となっている。平成 29 年度は周知や企業の動向を把握するため、企業に足を運び協議を重ねた。結果的に、平成 29 年度中に本社機能誘致をしてもよいという企業が複数あり、県の企業誘致担当と連携をとりながら誘致の促進を図る。</p> <p>②企業誘致ポータルサイト創設事業、③企業誘致推進事業 動画を活用したわかりやすいホームページの作成や、誘致に向けた専用パンフレットを配付し PR を図ったことにより、企業からの相談数が増加した。</p> <p>④社宅等整備支援事業 平成 28 年から実施され、リーフレットやホームページ掲載等の周知を図った結果、平成 29 年度は企業からの問い合わせが増加している。</p>						
今後の課題・主な取組	<p>全ての事業が実施されたことから、パッケージ化し、稲敷市への本社機能移転を促進させるよう図っていく。</p> <p>各事業 基本目標に記載。</p> <p>①本社機能移転等支援事業：基本目標 1－雇用 ②企業誘致ポータルサイト創設事業：基本目標 1－雇用 ③企業誘致推進事業：基本目標 1－雇用 ④社宅等整備支援事業：基本目標 2－移住定住</p>						

構成する施策	施策名			評価*1	前年度比較	
	①本社機能移転等支援事業			遅れ		
	②企業誘致ポータルサイト創設事業			概ね順調		
	③企業誘致推進事業			遅れ		
	④社宅等整備支援事業			遅れ		
数値目標	指標	関連施策	目標値 (基準値)	H29 実績達成状況		
				実績値	*2	前年度比較
	本社機能移転法人	①	5年間で4法人	1法人	B	
	企業誘致ポータルサイトアクセス数	②	22,000件	11,901件	B	
	企業誘致相談件数	③	5年間で125件	67件	B+	
	企業立地フェアブース来場者数	③	5年間で500人	403件	B+	
	社宅等整備数	④	5年間で30戸	0件	C	

[重点プロジェクト-2]

基本目標	稲敷ライスミルクプロジェクト						
目的	日本初、マイクロウェットミリング（微細湿式粉碎）による、「生ライスミルク」の商品化とおいしい稲敷米のPRを積極的に進めます。						
関係課	企業誘致推進室						
評価	順調	概ね順調	やや遅れ	遅れ	事業数	実施事業数	未実施事業数
	* 前年度の評価「順調」（前年度比較  ）				1	1 (100%)	0 (0%)
総括評価	<p>概要</p> <p>前年度の評価は「順調」であったが、平成29年度は試作品の開発は目標値を上回ったものの、雇用の促進が低調であったため、「概ね順調」となった。</p> <p>①稲敷ライスミルクプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな試作品としてライスミルクプリン1種（ヨーグルト）が完成。 ・これでライスミルク関連の試作品は全9種（ドリンク1種、プリン5種類、ヨーグルト2種類、アイス1種）となったことで、着実に実績を残している。 ・また、地方銀行フードセレクション等に出展し、バイヤーから好評を得ている。 ・雇用創出については、2名の新規雇用者が生まれた。 						
今後の課題・主な取組	<p>市の特産物を使用した加工品であり、米の消費拡大及び市のPRとして期待されるため、引き続き大学と連携し支援を図っていく。</p> <p>各事業 基本目標に記載。</p> <p>①稲敷ライスミルクプロジェクト事業：基本目標1－雇用</p>						
構成する施策	施策名				評価*1	前年度比較	
	①稲敷ライスミルクプロジェクト事業				概ね順調		
数値目標	指標	関連施策	目標値 (基準値)	H29 実績達成状況			
				実績値	*2	前年度比較	
	試作品開発数	①	10種類	9種類	A		
雇用創出数	①	20人	7人	B+			

[重点プロジェクト-3]

基本目標	稲敷市版三世代同居・近居プロジェクト						
目的	住宅敷地面積日本一の茨城県、のんびり豊かな稲敷市だからこそ、三世代が仲良く、楽しく過ごせる、安心して仕事や子育てができる施策を積極的にすすめます。						
関係課	人口減少対策室、市民協働課、子ども家庭課、生涯学習課						
評価	順調	概ね順調	やや遅れ	遅れ	事業数	実施事業数	未実施事業数
					5	4 (80%)	1 (20%)
	*前年度の評価「概ね順調」(前年度比較 ⇄)						
総括評価	<p>概要</p> <p>4事業が開始され「概ね順調」である。未実施1事業は平成31年度に実施予定である。</p> <p>①三世代近居世帯マイホーム取得支援事業、②三世代同居リフォーム支援事業 市内の定住とともに、市外からの市内への転入促進を図るため、平成28年度からマイホーム取得支援助成金に上乗せ加算する①三世代近居世帯マイホーム取得支援事業及び三世代の住環境を整備することで定住促進を図る②三世代同居リフォーム支援事業を開始した。</p> <p>・三世代近居世帯マイホーム取得支援事業、リフォーム支援事業共に期待値を上回る申請があった。</p> <p>③“シニア世代の知恵と経験”で子育て女性の支援事業 孫育て講座のみの実施。</p> <p>④三世代交流事業 子育て支援センター運動会の競技種目に、祖父母が参加できる競技を設け、三世代が楽しく過ごせる場の提供を行うことにより、家族の絆を深めることができた。また三世代アルバムづくりを実施し、祖父母の利用拡大を図っている。</p> <p>⑤三世代交流スポーツイベントフェスティバル事業 三世代家族で競技に参加することにより、家族内の絆や親睦を図ることができる重要な事業であるが、体育館改修に伴う会場変更のため、改修の終了する平成31年10月実施に向けて調整を行っている。</p>						
今後の課題・主な取組	<p>各事業 基本目標に記載。</p> <p>①三世代近居世帯マイホーム取得支援事業：基本目標2－移住定住</p> <p>②三世代同居リフォーム支援事業：基本目標2－移住定住</p> <p>③シニア世代の知恵と経験”で子育て女性の支援事業：基本目標2－移住定住</p>						

	④三世代交流事業：基本目標２－移住定住					
	⑤三世代交流スポーツイベントフェスティバル事業：基本目標２－移住定住					
構成する施策	施策名			評価＊１	前年度比較	
	①三世代近居世帯マイホーム取得支援事業			順調	→	
	②三世代同居リフォーム支援事業			順調	↗	
	③“シニア世代の知恵と経験”で子育て女性の支援事業			順調	→	
	④三世代交流事業			順調	→	
	⑤三世代交流スポーツフェスティバル事業			遅れ	H31.10月 実施予定	
数値目標	指標	関連 施策	目標値 (基準値)	H29 実績達成状況		
				実績値	* 2	前年度比較
	三世代同居世帯数 (マイホーム支援)	①	5年間で50世帯	54世帯	A	→
	三世代同居世帯数 (リフォーム)	②	5年間で10世帯	6世帯	A	↗
	講座数	③	1講座	2講座	A	→
	事業数	③	1事業	1事業	A	→
	子育て支援センター運動 会での祖父母参加者数	④	30人	36人	A	→

[重点プロジェクト-4]

基本目標	稲敷市妊活応援プロジェクト						
目的	夫婦の約 1 割が不妊症と言われている現代。不妊治療の高額な医療費の一部を補助するとともに、お母さんの健康と赤ちゃん誕生を応援します。						
関係課	健康増進課						
評価	順調	概ね順調	やや遅れ	遅れ	事業数	実施事業数	未実施事業数
					4	4 (100%)	0 (0%)
	* 前年度の評価「遅れ」(前年度比較 ⇄)						
総括評価	<p>概要</p> <p>前年度の評価は「遅れ」であり評価は横ばいである。不妊治療費助成事業、マタニティスクール事業、妊婦歯科健診費用助成が「遅れ」の評価となっている。子育てには欠かせない事業であるため、長期的に効果を見据える必要がある。</p> <p>①不妊治療費助成 特定不妊治療利用者はほぼ目標を達成している一方、一般不妊治療費利用者、男性不妊治療の利用は低水準である。</p> <p>②マタニティスクール事業 スクール参加者数が伸びず、一部の妊婦への支援になっている状況である。妊娠出産に伴う不安を払しょくするため、情報の環境整備を行っており、平成 28 年に子供の成長記録や予防接種のスケジュール管理が行える「電子母子手帳サービス」を開始。</p> <p>③妊婦健康診査費用助成 妊婦世帯の経済的負担の軽減を図る効果があり、比較的高い水準で受診されている。</p> <p>④妊婦歯科健診費用助成事業 低体重児出産等との関連性が口腔衛生にあるとされていることから、平成 28 年度から妊娠中 1 回の妊婦歯科健康診査の助成を開始した。利用率は全体の 1 / 4 程度と低水準である。</p>						
今後の課題・主な取組	<p>全ての事業が開始されたことからパッケージ化し、広く周知していく。</p> <p>各事業 基本目標に記載。</p> <p>①不妊治療費助成：基本目標 3 - 子育て</p> <p>②マタニティスクール事業：基本目標 3 - 子育て</p> <p>③妊婦健康診査費用助成：基本目標 3 - 子育て</p>						

	④妊婦歯科健診費助成事業：基本目標3 一子育て					
構成する施策	施策名			評価*1	前年度比較	
	①不妊治療費助成事業			遅れ	→	
	②マタニティスクール事業			遅れ	→	
	③妊婦健康診査費用助成			概ね順調	↘	
	④妊婦歯科健診費助成事業			遅れ	↘	
数値目標	指標	関連 施策	目標値 (基準値)	H28 実績達成状況		
				実績値	*2	前年度比較
	特定不妊治療活用者	①	150人	71人	B+	↗
	一般不妊治療活用者	①	550人	24人	C	→
	男性不妊治療活用者	①	25人	0人	C	→
	マタニティスクール参加率	②	30%	11.8%	B	→
	妊婦健診受診率	③	100%	95.9%	B+	↘
	妊婦歯科受診率	④	100%	23.6%	C	↘

[重点プロジェクト-5]

基本目標	稲敷市ずっと子育て応援プロジェクト						
目的	赤ちゃん誕生から大学卒業まで、出来るだけ長い間ずっと、トップクラスの手厚い子育て支援を行います。						
関係課	市民窓口課、健康増進課、子ども家庭課、指導室、保険年金課、教育学務課						
評価	順調	概ね順調	やや遅れ	遅れ	事業数	実施事業数	未実施事業数
					9	9	0
* 前年度の評価「概ね順調」(前年度比較 ⇨)						(100%)	(0%)
総括評価	<p>概要 前年度の評価も「概ね順調」で横ばいである。</p> <p>①わが子への未来便事業 対象世帯へ渡しているが、実際の申込みは依然低い状況である。</p> <p>②乳幼児健康支援事業 乳幼児健診受診率は依然として高い受診率を保っている。</p> <p>③「子育てタウン」ママフレ事業 妊娠、出産、子育てに特化したわかりやすさが特徴のサイト、情報発信の強化を行っている。順調に利用登録者を増やしている。</p> <p>④保育支援事業 平均 30%の軽減を行っており、保護者（特に市外から転入した世帯）から「保育料が安い」との声が多い。</p> <p>⑤放課後健全育成事業 平成 29 年度中に江戸崎児童クラブの建設を行い、目標である 4 施設を前倒しで達成した。</p> <p>⑥ALT 派遣事業・英語検定の検定料補助事業、⑦防災教育推進事業 平成 28 年度と比較して着実に合格者が増加している。小学生英検合格者も約 1.5 倍と増加している。</p> <p>⑧医療福祉事業 子育て世代の負担軽減を図るため、引き続き助成対象者を高校 3 年生相当まで拡大している。</p> <p>⑨奨学金支給事業 奨学金支給額の上限を大きくしたため、申請者が増加した。</p>						
今後の課題・主な取組	全ての事業が開始されたことからパッケージ化し、手厚い子育て支援を図っていく。						

	各事業 基本目標に記載。					
	①わが子への未来便事業：基本目標3－子育て					
	②乳幼児健康支援事業：基本目標3－子育て					
	③「子育てタウン」ママフレ事業：基本目標3－子育て					
	④保育支援事業：基本目標3－子育て					
	⑤放課後健全育成事業：基本目標3－子育て					
	⑥ALT 派遣事業・英語検定の検定料補助事業：基本目標3－子育て					
	⑦防災教育推進事業：基本目標3－子育て					
	⑧医療福祉事業：基本目標3－子育て					
	⑨奨学金支給事業：基本目標3－子育て					
構成する施策	施策名			評価*1	前年度比較	
	①わが子への未来便事業			遅れ	⇒	
	②乳幼児健康支援事業			順調	↗	
	③「子育てタウン」ママフレ事業			順調	↗	
	④保育支援事業			順調	⇒	
	⑤放課後健全育成事業			順調	⇒	
	⑥ALT 派遣事業・英語検定の検定料補助事業			順調	⇒	
	⑦防災教育推進事業			順調	⇒	
	⑧医療福祉事業			順調	⇒	
	⑨奨学金支給事業			遅れ	⇒	
数値目標	指標	関連施策	目標値 (基準値)	H28 実績達成状況		
				実績値	*2	前年度比較
	わが子への未来便申込件数	①	250 件	32 件	C	⇒
	乳幼児健診受診率	②	98%	97%	A	↗
	育児教室参加率	②	50%	34.3%	B+	⇒
	登録者数（子育てタウン）	③	500 人	103 人	A	↗
	保育料軽減	④	平均 30%軽減	実施	A	⇒
	放課後児童クラブ施設整備数	⑤	4 施設	4 施設	A	⇒
放課後児童クラブ待機児童数	⑤	0 人	実施	A	⇒	

	英語検定受検料補助 (小学校5級合格者)	⑥	5年間で50人	47人	A	
	英語検定受検料補助 (中学校3級合格者)	⑥	5年間で400人	207人	B+	
	ジュニア防災検定初級合格者数	⑦	5年間で1,000人	597人	A	
	医療福祉の対象者拡大	⑧	高校3年生相当まで拡大	実施	A	
	奨学金申請者数	⑨	5年間で35人	14人	B	

[重点プロジェクト-6]

基本目標	いいな！稲敷プロモーションプロジェクト						
目的	稲敷市の情報を発信していく体制を強化し、市の魅力を、市民をはじめ多くの方々に伝え、みんな大好き稲敷市を目指します。						
関係課	秘書広聴課、企業誘致推進室、人口減少対策室、子ども家庭課						
評価	順調	概ね順調	やや遅れ	遅れ	事業数	実施事業数	未実施事業数
					9	9	0
* 前年度の評価「順調」(前年度比較 ⇨)						(100%)	(0%)
総括評価	<p>【概要】 前年度の評価に引き続き今年の評価も「順調」である。引き続き実績が下がらないよう事業運営を図る。</p> <p>①シティセールス・プロモーション事業 平成28年にシティプロモーション推進室を設置し、シティプロモーションアクションプランを策定し、情報発信の強化を図った。その取組として、いなすけイルミネーションの設置など行った。また、ホームページのトップページデザインを変更した[基本目標4-シティプロモーション(1)に記載]。</p> <p>②企業誘致ポータルサイト創設事業 重点プロジェクト1：②企業誘致ポータルサイト創設事業に記載。</p> <p>③移住定住ポータルサイト創設事業 移住に関する情報を一元化することで、暮らしのイメージが付き、移住希望者のサポートにつながった。</p> <p>④子育て総合情報サイト事業 インターネットを利用した情報提供の効果が表れ、アクセス数が増えている。</p> <p>⑤「子育てタウン」ママフレ事業 重点プロジェクト5：③「子育てタウン」ママフレ事業に記載。</p> <p>⑥地域おこし協力隊によるシティセールス・プロモーション事業 地域おこし協力隊による行政にはない発想により、市内外の方を巻き込んだ大小様々な事業を企画実施し、1Facebookで情報発信を行った[基本目標4-シティプロモーション(1)に記載]。</p>						
今後の課題・主な取組	<p>全ての事業が開始されたことからパッケージ化し、シティプロモーションを促進させるよう図っていく。</p> <p>各事業 基本目標に記載。</p>						

